

【 競 技 上 の 注 意 】

競技について

1. **本大会は、平成29年度財団法人日本バドミントン協会競技規則、並びに一部大会ルール**により行います。
2. 試合の進行を早めるため、**コールがありましたら、速やかにコートに入り試合を始めて下さい。**
選手の呼び出し(場内放送)の後、10分経過しても選手がコートに入らない場合は、競技委員長との協議の上、棄権扱いすることがあります。特にサブアリーナは放送が入りません。練習等している場合も試合番号を確認の上、余裕を持って試合に臨めるようにしてください。
3. タイムテーブルにはコート番号が記載されていますが、**各コートの3試合目以降は、流し込み方式で進行します。進行状況によりコートが変更になります**のでご注意ください。また、試合の進行上、**決勝トーナメントが始まる頃、試合が前後する場合があります**。ご了承ください。
4. コートに持参したタオル・ラケット・ドリンク(蓋付き)、貴重品はコートサイドのかごの中に入れてください。体育館の床が濡れないようにお願いします。
5. **ポイントは、リーグ戦・順位決定戦・交流戦全て、各ゲーム「4オールスタート」で開始、開始後は正規ポイントで行います。**
6. **各コートの第1試合の審判は、そのコートで第1試合の次に予定されている試合の選手**でお願いします。**最初の試合以降は、勝者2名が線審、敗者2名が主審と副審**をお願いします。
※ 試合終了後は、敗者が、審判用紙を持って本部（サブアリーナは、サブアリーナの本部）へ来ていただき、次の試合の審判用紙をコートに持って行っていただき試合を行ってください。メインアリーナとサブアリーナ間の審判用紙の持ち運びは、補助員が行います。
7. **主審を担当する選手は責任を持って試合を進めてください。**また、シャトルの交換・タオルの使用・給水などは全て主審の許可が必要です。なお、主審への「抗議」や「異議」は認めません。疑問がある場合は、主審に質問することができます。もし、その判定に服さない時は「失格」になる場合もあります。
8. **選手は、試合終了後、勝敗に関係なく主審と握手すること**を心がけてください。
9. **リーグでの勝敗は、試合の勝ち数を最優先**します。以下得失ゲーム数差、得失点差で順位を決定します。全て同じ場合は、直接対戦で勝ったチームを上位とします。
10. **閉会式は、行いません。各種目3位まで賞品を用意**してあります。準備ができ次第、放送でお呼びいたしますので本部席までお越し下さい。

会場使用、その他について

1. **大会参加者及び関係者以外の方で、体育館へ入場される方もあります。**盗難防止も考え、**外靴はビニール袋(体育館で用意)に入れて、館内に持ち込むよう**にお願いします。
2. **体育館7フロア内での飲食及び体育館内での電源使用は、絶対にしないでください。**
電気ポット・電気毛布・電気ストーブ等、電気器具関係の使用も、もちろん禁止です。
3. 昼食及び簡単な飲食は、会場の二階ギャラリーをご使用ください。飲食をされた方は、責任を持って片づけ・清掃をお願いします。その際に出た**ごみは、必ずお持ち帰りください。**
4. **ごみは、各自で必ずお持ち帰り下さい。**
5. **体育館内は禁煙**です。喫煙は所定の場所をお願いします。（体育館外）
6. ロビー等での素振り、羽打ち等をご遠慮ください。
7. **貴重品は必ず持ち歩くようにし、観覧席に置いておくことがないよう**にお願いします。